



平成28年12月23日

各 位

会 社 名 大同メタル工業株式会社
代表者名 代表取締役会長兼最高経営責任者
判治 誠吾
(コード：7245 東証第1部・名証第1部)
問合せ先 常務執行役員
経営・財務企画ユニット長 小暮 圭一
(TEL. 052-205-1400)

**ATAキャスティングテクノロジージャパン株式会社の株式の取得（子会社化）
および孫会社の異動に関するお知らせ**

当社は、平成28年12月23日開催の取締役会において、以下のとおり、ATAキャスティングテクノロジージャパン株式会社（以下「ACJ」といいます。）の株式の100%を同社の株主である旭テック株式会社（以下「旭テック」といいます。）から取得（子会社化）すること、並びに、旭テックがACJの子会社であるATA Casting Technology Co., Ltd.（以下「ACT」といいます。）に対して有する未収金債権を取得すること（以下「本株式等取得」といいます。）について決議し、同日、株式及び債権譲渡契約を締結いたしましたので、お知らせいたします。

なお、本株式等取得に伴い、ACTは当社の孫会社となりますので、併せてお知らせいたします。

1. 株式等の取得の理由

当社は、自動車向けを中心として船舶、建設機械、一般産業向け等、多種多様な産業分野で使用される軸受を製造及び販売している「総合すべり軸受メーカー」であり、「できる限りお客様の近くで生産し、国内と同じ品質の製品・サービスを提供する」という基本理念のもと、北米、欧州、アジア、中国及び日本の世界5極におけるグローバルな生産及び販売体制を整え、市場展開を行っております。また、「すべり軸受の全ての産業分野において世界市場でトップシェアを獲得し、世界で存在感のある大同メタルグループを目指す」ことを中期経営ビジョンとして掲げて事業拡大に取り組んでおります。

この度子会社化するACJ及びその子会社であるACTは、タイにおいて自動車向けアルミダイカスト製品の製造及び販売を行っており、取引先の自動車メーカー及び自動車部品メーカーから高い技術力を認められている企業です。日本勢としては、タイ市場にいち早く参入した老舗メーカーの一社であり、アルミの溶解から鋳造、加工、検査、出荷までを一貫して手掛けており、タイにおける日系アルミダイカストメーカーでは最大の規模を誇っております。

自動車部品メーカーは、今後、ますますグローバルな展開力を求められており、本株式等取得によって、当社とACJ及びACTの生産及び販売拠点を連携させることで、両社のグローバルな事

業展開を加速させ、また、現地における人材交流や技術・ノウハウの共有化を通じた技術力・生産力の向上、運営体制の効率化などが可能になるものと考えております。

また、すべり軸受以外の自動車向け製品のラインナップを拡充することで、当社にとりましては、既存取引先に対する製品提案力の強化につながり、またACJ及びACTにとりまして、当社の自動車業界における国内外の幅広い顧客基盤を活用した拡販により、更なる業績の発展が期待できます。

そして、中長期的には、大同メタルグループとしての製品・事業の多角化・面的拡大につながるものと考えております。

2. 異動する子会社（ACJ）及び孫会社（ACT）の概要

a) 異動する子会社（ACJ）の概要

(1) 名称	ATAキャスティングテクノロジージャパン株式会社	
(2) 所在地	静岡県菊川市東横地3311番地の1	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 廣瀬 信夫	
(4) 事業内容	自動車用アルミダイキャスト製品の設計・開発	
(5) 資本金	10百万円	
(6) 設立年月日	平成28年5月2日	
(7) 大株主及び持株比率	旭テック株式会社 100%	
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	該当事項はありません。
	人的関係	該当事項はありません。
	取引関係	該当事項はありません。
(9) 当該会社の直近の経営成績（※1）（※4）及び財政状態（※2）（※3）		
純資産	4,644百万円	
総資産	4,807百万円	
1株当たり純資産	23,224,077.75円	
売上高	238百万円	
営業利益	83百万円	

（※1）ACJは、本年5月2日に旭テックによる新設分割により設立され、最初の決算期が未到来のため、確定した業績がございません。そのため、分割対象の自動車用アルミダイキャスト製品の設計・開発に関連する事業の旭テックの直近の事業年度（平成28年3月期）における売上高及び営業利益（未監査）を記載しております。

（※2）本年9月30日時点におけるACJの純資産、総資産及び1株当たり純資産（未監査）を記載しております。

（※3）本年9月30日時点におけるACJとACTの連結指標（未監査）は以下のとおりです。

連結純資産	3,803百万円
連結総資産	6,754百万円

1株当たり連結純資産	19,019,938.39円
------------	----------------

(※4) 平成28年3月期におけるACJとACTの売上高及び営業利益を合算した数値は以下のとおりです。

売上高	8,243百万円
営業利益	428百万円

b) 異動する孫会社 (ACT) の概要

(1) 名称	ATA Casting Technology Co., Ltd.	
(2) 所在地	361 Moo 1, Rattanakaj Road, Bangbor Sub-district, Bangbor District, Samutprakarn Province 10560, Thailand	
(3) 代表者の役職・氏名	社長 廣瀬 信夫	
(4) 事業内容	自動車用アルミダイキャスト製品の製造・販売	
(5) 資本金	340百万タイバーツ (1,111百万円) (※3)	
(6) 設立年月日	平成28年5月31日	
(7) 大株主及び持株比率	ATAキャスティングテクノロジー 99.9% ジャパン株式会社	
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	該当事項はありません。
	人的関係	該当事項はありません。
	取引関係	該当事項はありません。
(9) 当該会社の直近の経営成績 (※1) 及び財政状態 (※2) (※3)		
純資産	1,090百万タイバーツ (3,565百万円)	
総資産	2,068百万タイバーツ (6,763百万円)	
売上高	2,448百万タイバーツ (8,005百万円)	
営業利益	105百万タイバーツ (344百万円)	

(※1) ACTは、本年5月31日に設立され、最初の決算期が未到来のため、確定した業績がございません。そのため、自動車用アルミダイキャスト製品の製造・販売に関連する事業のAsahi Tec Aluminium (Thailand) Co.,Ltd (旭テックの子会社)の直近の事業年度(平成28年3月期)における売上高及び営業利益(未監査)を記載しております。

(※2) 本年9月30日時点におけるACTの純資産及び総資産(未監査)を記載しております。

(※3) 1タイバーツは3.27円(平成28年12月22日時点)で換算しております。

3. 株式及び債権取得の相手先の概要

(1) 名 称	旭テック株式会社	
(2) 所 在 地	静岡県菊川市東横地3311番地の1	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 丹治 宏彰	
(4) 事 業 内 容	自動車用及び産業建設用機械等の鑄造製品の設計・開発及び製造・販売	
(5) 資 本 金	3,864百万円	
(6) 設 立 年 月 日	昭和13年8月8日	
(7) 純 資 産	9,692百万円	
(8) 総 資 産	18,656百万円	
(9) 大株主及び持株比率	ATCホールディングス株式会社 100%	
(10) 上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	該当事項はありません。
	人 的 関 係	該当事項はありません。
	取 引 関 係	該当事項はありません。
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。

4. 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	0株 (議決権の数：0個) (議決権所有割合：0%)	
(2) 取得株式数	200株 (議決権の数：200個)	
(3) 取得価額	ACJの普通株式 (概算額)	12,400百万円 (※)
	アドバイザー費用等 (概算額)	140百万円
	合計 (概算額)	12,540百万円
(4) 異動後の所有株式数	200株 (議決権の数：200個) (議決権所有割合：100%)	

(※) 取得価額は、ACJとACT連結の現預金及び有利子負債等の変動に伴い、株式及び債権譲渡契約に定める価額調整を実施した金額となる予定です。なお、本株式等取得により、株式以外に、株式取得の相手先である旭テックがACTに対して有する未収金債権を取得します。未収金債権の取得価額は516百万円です。

5. 日程

(1) 取 締 役 会 決 議	平成28年12月23日
-----------------	-------------

(2) 株式及び債権譲渡契約締結日	平成28年12月23日
(3) 株式及び債権譲渡実行日	平成29年1月(予定)

6. 今後の見通し

本株式等取得による業績への影響につきましては、当期(平成29年3月期)の連結業績に与える影響は軽微と見込んでおります。なお、今後公表すべき事項が発生した場合には、速やかにお知らせいたします。

(参考) 当期連結業績予想(平成28年11月14日公表分)及び前期連結実績

(単位:百万円)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
当期連結業績予想 (平成29年3月期)	80,500	5,500	5,500	3,200
前期連結実績 (平成28年3月期)	81,400	7,114	6,796	3,919

以上